

仏法と怪異

日本靈異記の世界

たけだ ひろお

武田比呂男 著 ▼A5判・上製カバー！264頁 定価 三、八五〇円

2023年4月刊行



来世は牛か蛇か、それとも地獄か。僧・景戒は、なぜ怪異譚を因果応報の論理で読み替えたのか。日本最古の仏教説話集編纂の意図に迫る。

【目次】

序曲——ouverture

第一章 よみがえりと転生

- 一 はじめに／二 霊と肉／三 よみがえりと身体／四 うまれかわりと前生の記憶／五 聖の転生／六 おわりに

第二章 因果応報と〈やまひ〉

- 一 はじめに／二 訪れ来る〈やまひ〉／三 「氣」の発動と「祟り」／四 因果応報と〈やまひ〉／五 宿業としての〈やまひ〉／六 むすび

第三章 病氣治療と山林修行——『日本靈異記』の密教的信仰

- 一 『靈異記』の治療説話／二 山居し服餌する僧／三 道術／雑密／四 菩薩行と呪能

第四章 〈夜〉を生きる

- 一 怪異の時間としての〈夜〉／三 冥界とつながる〈夜〉／四 無縁としての〈夜〉／五 夕方——昼と夜のあいまい／六 夢見の時間

第五章 仏像の靈異

- 一 はじめに／二 神々との交感／三 祟りを起こす仏像／四 声をあげる仏像／五 仏像への祈願と感応／六 むすび——仏像と僧の身体

第六章 因果と〈はぢ〉

- 一 はじめに／二 「見るな」の禁——〈はぢ〉の神話的起源／三 宿業と〈はぢ〉／四 冥界からの照射／五 慚愧と回心／六 超越性の変容——見える世界と見えない世界

第七章 景戒と夢解き——実践者のテキスト

- 一 編纂者と自叙／二 予兆と果を紡ぐもの／三 夢解きと怪異／四 因果と表相のあいだ／五 『日本靈異記』の〈今〉／六 景戒の〈今〉へ——むすびにかえて

第八章 『靈異記』という〈時空〉

- 一 はじめに／二 説話の流通する時空／三 序文と歴史意識／四 聖帝の時空——聖武と嵯峨／五 説話集と仏法の時空

第九章 僧の境位と現報の語り——『日本靈異記』のめざしたものの

- 一 はじめに／二 因果を解き明かす者／三 呪術者としての僧／四 景戒の位相／五 宿業と僧の自覚

第十章 悪女と救済——『法華験記』下巻第二二九話

- はじめに／一 鐘に怨みは／二 異類と悪女／三 寡婦へのまなざし／四 蛇身の顕現／五 〈悪女〉の救済

第十一章 神仏習合研究史ノート

- 方法的枠組みの転換へ向けて
- 一 はじめに／二 研究史の整理／三 方法的枠組みの転換初出一覧
- あとがき

◆著者略歴

武田比呂男（たけだ ひろお）

一九五九年生まれ。明治大学大学院文学研究科日本文学専攻博士後期課程満期退学（文学修士）。現在、十文字学園女子大学教育人文学部文芸文化学科教授。
主な著書に、『シャーマニズムの文化学』（共著、森話社、二〇〇一年、改訂版二〇〇九年）、『安倍晴明の文化学』（共編著、新紀元社、二〇〇二年）、『躍動する日本神話』（共編著、森話社、二〇一〇年）ほか。

注文書	書店印
様冊	ご担当
武田比呂男 著	法藏館
定価 三、八五〇円	ISBN: 978-4-8318-6277-8 C3091
住所	お名前
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

文学